

「2026 年、日本における鍼灸臨床の実態調査」

アンケート調査へのご協力をお願い

2026 年 9 月 1 日
社会鍼灸学研究会

形井 秀一
嶺 聡一郎
菊地 貴子

【アンケート実施の趣旨】

「現代日本社会の中で鍼灸がどのように営まれているかについての実態」の調査は、2022 年に形井らが行った灸師を対象とした報告『日本における灸療法の実態調査』（全日鍼誌、2025;75(1):75-92.）はありますが、鍼灸全般についての調査は、2011 年の小川らによる『第 5 回現代鍼灸業態アンケート』（医道の日本、2011; 70 (8):191-224）以来、行われていません。

そのため、現在の日本の鍼灸の状況を把握し、今後の鍼灸のあり方を検討するために必要な調査を行うことが、本研究の目的です。

【調査方法】

Google フォームを利用した無記名式アンケート。

回答フォームへは以下よりアクセスできます。

<https://x.gd/Ebi5x>



【調査期間】

9 月 30 日（水）まで

【倫理的配慮】

本調査は、筑波技術大学・研究倫理委員会の承認（研究倫理審査番号；2026-17）を得て、実施しています。

回答者の個人特定ができる質問事項はありません。

アンケートに回答した元データは、調査に携わる上記 3 名以外のアクセスを行いません。

調査データは、第 21 回社会鍼灸学研究会での発表とその論文化、および、学術研究目的に限り使用し、他の目的のためには使用致しません。調査終了後は、一定期間、研究総括者が厳重に保管した後、破棄致します。

なお、研究に関する問い合わせと第 21 回社会鍼灸学研究会の詳細については、社会鍼灸学研究会の HP をご覧下さい。

社会鍼灸学研究会 HP のアドレス；<http://www.doho-acu-moxa.com/fssam/>

皆様のご協力を心からお願い申し上げます。